

☆☆東京民医連☆☆ 薬害根絶の会 news ♪

2013年10月30日発行 No.47

10月26日 薬害フォーラムが開催されました！

心配していた台風27号も通り過ぎた土曜の午後、慶応大学薬学部で開催されました。

今回のテーマは「薬害と経済」。純粋に疾患と患者さんと薬に関わっている時代ではなくなってきています。参加者の感想文を掲載します。

＊多くの薬害被害の方からのお話しを聞く事ができました。

繰り返されてきた悲劇。被害が分かっても、在庫を無くなるまで売り切ろうとする姿勢が被害を拡大してきました。安全性の確立できない医療体制、国の見て見ぬ姿勢もずっと変わりません。改めて薬害は人災であると実感させられます。

この会議で心に残った言葉は「科学的な検討会で、非科学的な力学が働く」ことでした。今も変わらず事実を歪ませ、手口が巧妙になってきています。

薬害をなくすためには、被害の事実を知る事、被害者の声を聞く事、そしてそれを広める事が大きな力になっていきます。それにはこれからも一人でも多くの人に知ってもらう事が必要であり、そしてともに考えていくとこを続けていきたいと思えます。

＊医療の発展のためには犠牲はやむを得ない…というけど、二度と薬害をおこさないどころか繰り返されている。

「私は医療の発展のため犠牲になったとは思えません」…というサリドマイド被害者-増山さんの言葉が心に残りました。



イラスト提供「web サイト赤びきんちゃんのお・歩・道」

薬害根絶デーに参加しての感想を紹介します♪

青葉薬局（中野）の方の感想（抜粋）を紹介します。

午後の「ワークショップ-薬害被害者の声を聞く」に参加され、肝炎被害者の方の声を聞いての感想です。

＊肝炎の原告の方々からは、「子供を残して死ねない」と副作用や費用に苦しみながら治療を受けた話や、逆に治療を受けることで周囲に病気が知られて子供がいじめられるのではないかと、敢えて治療を受けなかった話を聞き、薬害に対する周囲の無知が余計な苦勞を被害者に与えてしまっていること、またその状況を医療従事者は察する必要がある事を知ることができた。



全日本民医連学連交で薬害根絶の会の活動を報告してきました！ネットでも報告をアップします♪

☆第22回国民の医薬シンポジウムのお知らせ☆

日時：2013年11月24日（日）10：00～16：30

場所：平和と労働センター・全労連会館

≪午前の部≫講演「医薬品の安全性確保とTPP」

水口真寿美（弁護士、薬害オンブズパーソン会議事務局長）

追加報告 醍醐聡（東京大学名誉教授）

≪午後の部≫シンポジウム「子宮頸がん予防」ワクチンの必要性・安全性・有効性」

報告1 ワクチンに関する全情報の公表を（仮） 隈本邦彦（江戸川大学教授）

報告2 HPVワクチンの効果と害（仮） 打出喜義（金沢大学附属病院産婦人科医師）

追加報告 子どもたちを薬害から守りたい！ 安田美絵（健康料理教室主宰・市民活動家）